

## 伊澤 哲雄さん（昭和44年卒）

有限会社 太成不動産 取締役

### ◇お仕事の内容を教えてください

不動産の売買・媒介・賃貸・管理を行う会社を経営しています。

### ◇仕事を通じどんなことに喜びを感じますか

土地建物を購入・売却する際に、失敗しないように手助けしたり、リスクを避けるようにアドバイスしたり、満足して頂けるよう努力しています。

すっかり忘れた頃、この間のお礼ですとわざわざ訪ねてくれたお客様もいます。アパートの入居者さんから、相談を受け土地購入から住まいまで長期に渡りお付き合いさせて頂いています。業者冥利ですね。



### ◇将来の夢を教えてください

私も70才を過ぎ、今では趣味の範疇となりつつある仕事以外に、春・夏・秋と山を楽しんでいます。3年前、厳しい槍ヶ岳の穂先に立ち天空を仰ぎ「絶景！」感動しました。10年程前か、岩手山山開き。馬返しから入山し5合目付近、専北同級生中軽米和男君と偶然にもバッタリ。まさか岩手山で！お互い「元気か?」。懐かしい思い出があります。古稀を過ぎ、南・北アルプス、立山まで。時間かけてじっくり計画を練りながら登山したいと考えています。特に燕山荘ではクラシックコンサートが催され…。是非、宿泊し聴いてみたいものです。

### ◇専大北上高校ではどんな高校生活を過ごされましたか

当時、交通手段は北上線。共に通った野球部の高橋政人君とは、行きも帰りも一緒。当時は大声で騒いだり、皆様に迷惑かけていたかもしれません。商業科で学んだ事は経営（自営）で大いに役立っています。私はサッカー部に所属し、菊池監督の元、ボールを追い回す毎日でした。同級生でゴールキーパーをしていた横沢茂君が東日本大震災当日（当時、県立高田病院事務局長）、1階の衛星電話を取りに戻りスタッフへ。そのまま帰らぬ人に。受け取ったスタッフは間一髪、咄嗟の判断だったのだろう。その衛星電話は患者・被災者多くの人命を救ったとの事です。（現代の偉人伝第118話3月23日付読売新聞は「命綱の衛星電話を守った津波にのまれた事務局長」記事から）彼と一緒に時間を過ごせたことは私の誇りです。

なお、サッカー部の後輩達が近年、全国大会出場と大変活躍し、勇気を頂いています。

### ◇専北生に伝えたいメッセージは何ですか

学生生活を通じ、ふとした事にも思いもかけない出会いがあるかもしれません。一期一会は生涯のものです。私たちは団塊世代と言われビートルズ・グループサウンズの時代でした。時の流れが緩やかに進んでいたような。今は目まぐるしく進んでいるような気がします。だからこそ、目標はまだ定まらなくても自分の志を高め努力を惜しまず、人と違うユニークな学園ライフを送ってください

\*\*\*\*\*

☆取材後記：お知り合いからの紹介で会社を引き継ぎ35年間。お仕事も大変な中、県宅建協会理事・北上支部長、北上市と西和賀町の空き家対策委員等も務められる伊澤さん。何歳になられても自然体で報恩奉仕を实践されている素敵な方でした。（担当：Y）